

長岡市立表町小学校の取組



戦災資料館見学

戦災資料館を見学し、歴史的な背景を正しく教えていただきました。長岡空襲の恐ろしさについて思いを深めました。

史跡めぐり

平和の森公園、平潟神社、明治公園、山本記念公園、柿川戦災殉難地、模擬原爆投下地といった長岡空襲にかかわりの深い史跡をめぐり、平和への思いを強くしました。



折り鶴プロジェクトへの参加

戦争の恐ろしさを知り、平和への思いを強くした子どもたちは、折り鶴プロジェクトへ参加しました。

社会科での探究活動

社会科では、単元を入れ替え、総合学習に合わせて日中戦争、太平洋戦争を学習しました。まとめとして、学習したことをICTを用いてまとめました。

第二次世界大戦中の衣服と食料と物資

衣服は男性が着る国民服(図3)と女性が着るもんぺ(図4)がありました。
食料は配給制(図5)や切符制でした。切符を食料と交換したり米や味噌、砂糖等が配られました。ですが家族の人数分だけしか買うことができず、十分に食事が取れませんでした。そこで人々は不正な方法で手に入れた食料を高く売る闇市でなんとか飢えをしのいでいました。
物資は国家総動員法によって政府が金属を回収した。お寺の鐘や銅像、鍋やかま、やかんまで回収対象になりました。



ミラクル平和展—過去を知り、未来へつなげる—

これまでの平和学習で得られた学びをもとに、全校の子どもたちに向けて、長岡空襲について正しく知り、平和について考えを深めてもらいたいという思いをもち、「ミラクル平和展」を行いました。

史跡めぐりマップや模型展示、スライドやクイズ、そして平和を願う手形アートのコーナーなど、様々なアイデアをもとに全校に平和のメッセージを届けました。



長岡市立希望が丘小学校の取組



1



2



3



3



4



4

- ① 6年生は総合的な学習の時間で、平和学習(太平洋戦争、山本五十六、長岡空襲、長岡の復興等)に取り組んでいます。そして、その事実を自分の目で確かめ、肌で感じるために長岡空襲に関係ある場所を巡っています。6月に行った平和巡検では、左近の模擬原子爆弾投下地、平瀉神社、神明神社、平和の森公園、昌福寺の戦災殉難者の墓、山本五十六の生家等を訪れ、講師の先生方より長岡空襲等のお話を聞きました。自分の目で確かめることで、「昔にどこかで戦争があった」ということではなく、「確かに自分の故郷で戦争があった」ことを実感し、戦争の恐ろしさ、悲惨さについて深く考えることができました。
- ② 戦争体験者の方から貴重なお話を聞く学習をしました。1945年の8月1日にあった恐ろしい空襲、一瞬で奪われた日常の幸せ、失われたかけがえのない命、家族を失う悲しみ。そのようなお話を聞きながら、自分たちは、「戦争の悲惨さ、平和のありがたさ」を伝えていかなければならないという気概をもちました。
- ③ 令和5年11月30日、長岡リリックホールで6年生たいよう学年が、総合創作劇を上演しました。総合創作劇の題名を「一人ひとりの長岡空襲 2023～感謝・ふみ出す勇気・つなぐ想い～」変更しました。そのことで、「長岡が受けた空襲」から「一人ひとりが受けた空襲」へととらえ直すことができました。劇では、空襲で亡くなった1488名には幸せな日常があったこと、また、全ての長岡市民に空襲が襲い、かけがえのない家族を失った人の悲しみは想像を絶するものだったこと、空襲の激しさを表現しました。劇で表現することで、多くの方の体験談等から学んだ「長岡空襲」を自分事として考えることができました。劇の最後には、「これからの平和は自分たちで創る」という思いを、「越えて行け」の歌で伝えました。上演後には、「慰霊、復興、平和」の気持ちを込めた「白菊」の花火を嘉瀬煙火工業様より上げていただきました。
- ④ 書・篆刻作家の柳澤魁秀先生により、自分の想いを言葉にする大切さを教えていただき、総合創作劇で伝えたいことをメッセージにし、巨大書を作成しました。学年全員で分担し、その文字に自分の想いを乗せ、心を込めて書きました。

長岡市立川崎東小学校の取組



長岡花火財団の方からご来校いただき、
花火に込められた思いを聞きました。

長岡空襲について具体的に知るため、
戦災資料館に行きました。



明治公園の爆撃中心点の碑で、
長岡空襲の範囲を確かめました。



平和像の設立の理由を知り、
平和への思いをより強くしました。



長岡市立南中学校の取組



5月 平和巡検

2年生が平和巡検の中で長岡空襲に関係のある場所を巡っています。5月に行った平和巡検では、平潟神社の慰霊塔や平和の森公園にある平和像、昌福寺の戦災殉難者の墓等を訪れました。観光ボランティアの方から長岡空襲の時の様子等についてお話を聞き、長岡市民の平和への想いを再確認することができました。



10月 戦争と平和を語る会

平和学習の一環として、10月に「戦争と平和を語る会」を行います。1945年8月1日の長岡空襲を体験された方から、戦時中の様子をお聞きしたり、生徒と平和について意見交換をします。空襲体験者の高齢化が進んでいますが、戦争の悲惨さや平和の大切さを語り継いでいくことの大切さを実感する貴重な時間となります。



11月 オンライン平和学習

令和5年度11月、南中学校生徒と姉妹都市・ホノルル市のミリラニ中学校生徒が「オンライン平和学習」を行いました。今回は、戦艦ミズーリ号記念館などの歴史関連施設のガイドさんからお話を聞き、現地の中学生と平和に関する対話を行いました。オンラインでホノルル市とつながり平和学習を行うことで、姉妹都市との平和交流の推進を図るとともに、生徒が平和について学び、考える貴重な機会となりました。



3月 平和学習発表会

令和5年度3月に市立劇場にて平和学習発表会を行いました。令和5年度の平和劇は、「未来へ語り継ぐ平和の尊さ～一人一人が伝承者～」をテーマに、「平和の尊さとは一体何なのか」、「ふるさと長岡に暮らす私たちはこれからどのように平和な世界を守り、語り継いでいくべきなのか」を観客のみなさんと考えるような構成にしました。

発表会の最後に、平和への想いを込めた南中オリジナルソング「誓い」を披露しました。全員が、心を一つにして二度と戦争を繰り返さないという想いを込めて合唱しました。



長岡市立大島中学校の取組

信濃川河川敷での向日葵の植ええ



大島中学校では地域と連携して、長岡花火会場の信濃川河川敷に向日葵の植ええを行っています。長岡空襲からの復興祈願の願いが込められている長岡大花火大会に訪れる全国からのお客さんをたくさんの向日葵で迎えようとしている活動になります。

活動を通して、長岡空襲で多くの犠牲者を出した事実を理解し、二度と戦争が繰り返されることのない平和な社会の実現を願う生徒を育てています。



長岡市立秋葉中学校の取組

秋葉中学校では、相手の立場や思いを自分事としてとらえ、寄り添うことによって自他の尊さを理解する生徒の育成を目指し、人権教育、同和教育を中核とした平和学習を行っています。



6月 長岡青年会議所の方をお迎えした平和学習(1年)

戦災都市長岡の長岡青年会議所の方からお出でいただきました。「若い視点で長岡空襲をとらえ、悲しい歴史を繰り返さず、そして長岡の伝統をさらに発展させていこう」とする講義でした。



9月 義の元服式(2年)

刈谷田中学校の生徒とともに参加し、常安寺にて行われました。上杉謙信公の逸話や「義の心」について学び、座禅会やご焼香といった貴重な体験もしました。最後は全員で「関(とき)の声」を唱和し、両校代表生徒2名が参加の証である「誓いの言葉」を授与されました。



10月 広島派遣報告会(全校)

長岡市の代表の一人として参加した生徒が、広島での平和記念式典に参加した時の様子をはじめ、活動全体の報告や感想などを発表しました。報告会を通して、現地で感じた平和への強い願いを全校で共有することができました。



10月 戦災講話(全校)

広島派遣報告会とともに、「平和フォーラム」として実施しました。長岡空襲を体験された櫻井様を講師にお招きし、ご自身の実体験を交えてお話していただきました。



3月 修学旅行(2年)

平和学習の一環として、1日目に広島市の平和記念公園を訪れました。ガイドの方からの説明を聞き、モニュメントの前では代表生徒が「平和への誓いの言葉」を述べ、全員で黙とうを捧げました。その後、資料館を拝観し、改めて戦争の恐ろしさと平和の大切さを感じました。2日目の朝には原爆ドームを訪れました。

3年生は、平和学習の集大成として、「平和のために自分たちにできること」をそれぞれの生徒が考え、レポートにまとめます。